

# 優良日本株ファンド 〈愛称:ちから株〉

追加型投信／国内／株式



NISA 対象

ファンドは、NISAの成長投資枠の対象です。  
※販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

ご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売用資料 2025.09

■ 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

■ 設定・運用は



あかつき証券株式会社

あかつき証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第67号  
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人金融先物取引業協会

三菱UFJアセットマネジメント

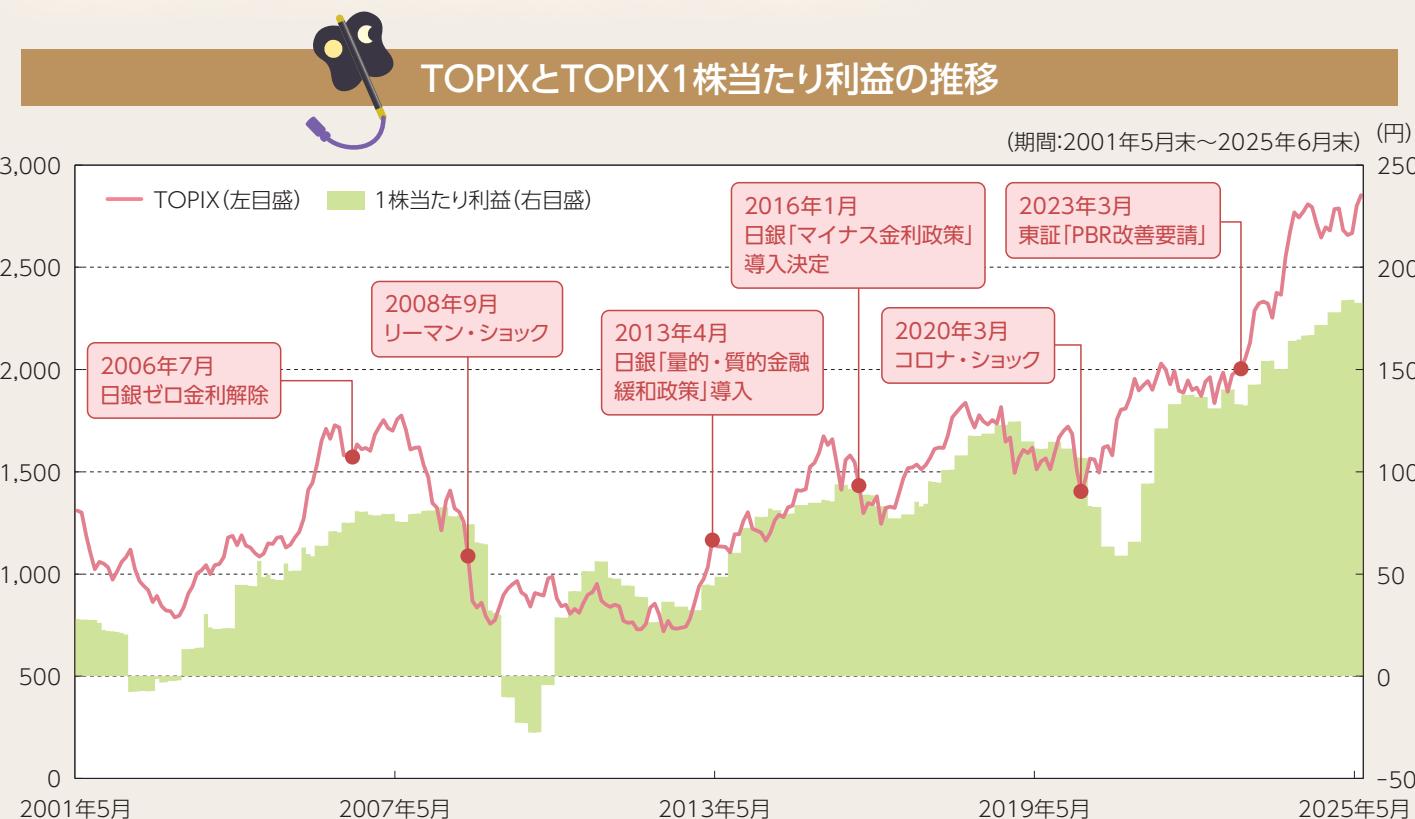
三菱UFJアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

# 見直される 日本株

日本株は、2015年のコーポレートガバナンス・コード策定から続く、企業・投資家を巻き込んだ政府のガバナンス改革などにより、利益の成長とともに株価も上昇してきました。一方で、日本株はPBR(株価純資産倍率)でみると相対的に割安な水準にあります。

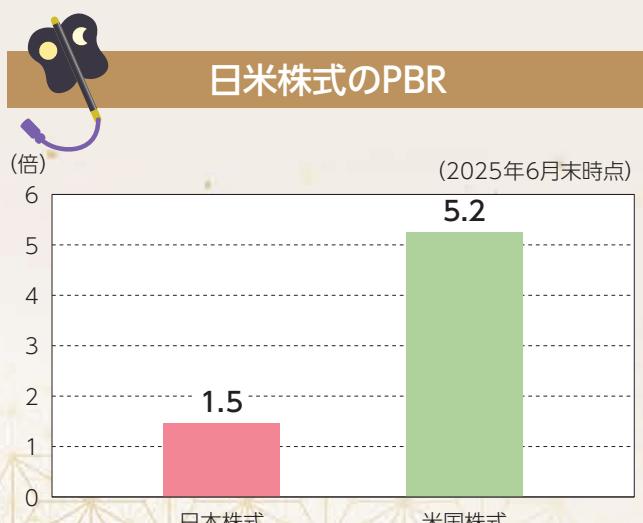
東証のPBR改善要請など、日本企業は資本コストや株価を意識した経営が求められています。**事業構造改革、M&A、株主還元などによって企業価値の向上の実現**に向けて取り組む企業は、投資家から見直され**再評価**されることが期待されます。

日本株投資では、そのような銘柄を選択することが重要です。



・1株当たり利益は、2025年7月7日時点に取得したデータを使用しています。

(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成



(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

・上記は指数を使用しています。指数については【本資料で使用している指標について】をご覧ください。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の

# 成長投資

## へと舵を切る日本企業

日本企業は、これまで手元資金を積み上げてきましたが、デフレからの転換等日本経済の環境変化や、東証や投資家からのガバナンス改革に対する要請等を背景に、**企業価値の向上のため資金を活用する意識**を強めています。株主還元の積極化や、設備・人材投資への資金投入が、**経営の効率化や利益の拡大につながると**考えられます。



### 日本企業の現金・預金の推移



・現金・預金は金融保険業を除く全産業を対象とし、四半期ごとのデータです。  
(出所)法人企業統計調査のデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

### ポイント 1

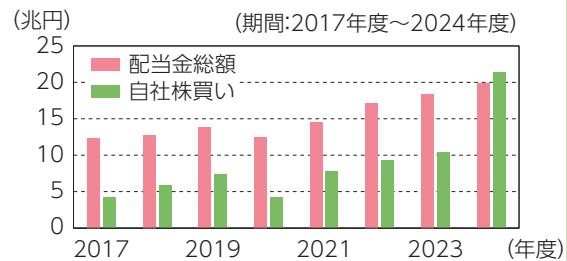
## 積極化する 株主還元

増配や自社株買い等の積極的な株主還元が増えています。

- 2025年7月11日時点のTOPIX構成銘柄を対象に、配当金総額は各企業の決算ベース、自社株買いは取得枠の公表ベースで集計しています。

(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

### TOPIX構成銘柄の株主還元推移



### ポイント 2

## 拡大する 設備投資

企業の利益成長を促す設備等への投資が増加しています。

- 民間企業設備投資の名目の値です。

(出所)内閣府のデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

### 日本企業の設備投資額の推移



### ポイント 3

## 強まる 人材投資 の動き

賃上げ等で優秀な人材を確保しようという動きが強まっています。

(出所)各種資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

### 日本企業の賃上げ事例

企業	内容
オリエンタル ランド	2024年4月より、従業員 (パート・アルバイトを含む) 平均で約6%の賃上げ
ファースト リテイリング	2025年3月より、新入社員の 初任給は33万円に、本部・営業の 正社員は年収が最大11%の賃上げ
サントリ－ ホールディングス	2025年4月より、 グループ社員を対象に平均で 約7%の賃上げ

# ファンドの特色



**わが国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長をめざします。**

- 株式の実質組入比率は、原則として高位を保ちます。



**競争力のある優良企業<sup>\*1</sup>の株式の中から、割安と判断される銘柄(ちから株)を厳選して投資します。**

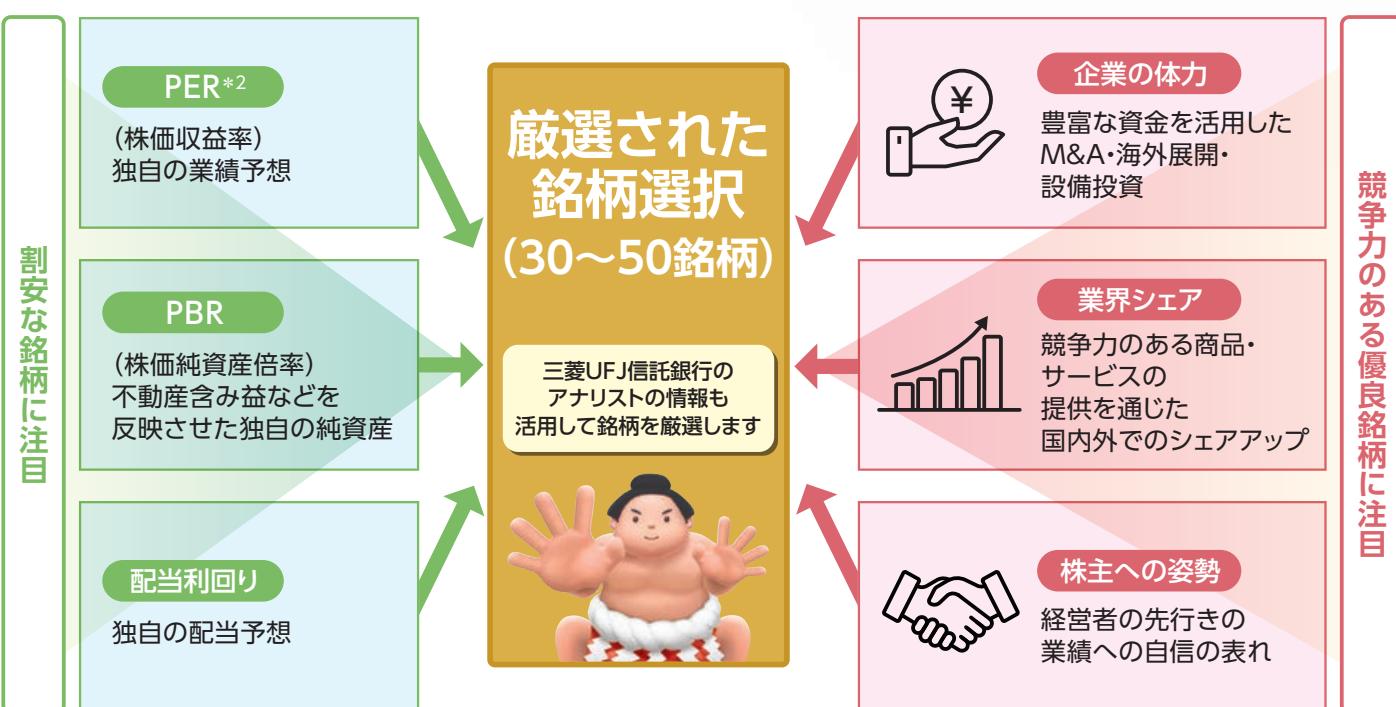
- 銘柄選定にあたっては、株価の割安度等に着目して30～50銘柄程度に投資を行います。

- 実際の運用にあたっては、主に優良日本株マザーファンドを通じて投資を行います。

\*1 競争力のある優良企業とは、業界内のシェアや株主還元、財務の健全性等の観点で、相対的に評価が高いと委託会社が判断する企業をいいます。



**運用プロセスが「銘柄選定のちから」の源。**



\*2 企業の当期純利益に対して、現在の株価が割安かどうかを測る指標です。

・上記は銘柄選定の視点を示したものであり、実際にファンドで投資する銘柄の将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

## 分配方針

- 年2回の決算時(6・12月の各5日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。
- 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
- 原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円(10,000口当たり)を超えている場合に、当期の基準価額上昇分の範囲内で分配します。
- 分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

# 運用チームのご紹介



三菱UFJアセットマネジメント 株式運用部

日本株オポチュニティ戦略チーム

在籍数 <b>3名</b>	平均運用経験年数 <b>18年</b>	平均在籍年数 <b>15年</b>
------------------	------------------------	----------------------

運用主担当者



**友利 啓明 Tomori Hiroaki**  
2007年旧三菱UFJ投信(現三菱UFJアセットマネジメント)入社。  
2014年より日本株アナリストに従事、2017年より日本株ファンドマネジャー。  
毎日多数発行される証券会社作成のレポートを漏れなくチェックし、  
セクター・アナリストとの議論を行う。  
日中・夜間で大きく値動きがあった企業の背景調査を行い、新興企業や急激な業績変化に対するチェック漏れを補完し、チーム運用を活性化。

+

**他戦略チーム**

様々なセクターを担当する7名の  
ファンドマネジャー／アナリストと  
密な情報共有を実施。

国内外の株式、REITの運用・調査に従事する、  
株式運用部のリソースも活用。

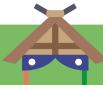
**戦略運用部  
(7名)**

**サステナブル  
投資推進部  
(21名)**

**当社内の様々な関連組織と  
協働しながら  
自ら企業と積極的に対話**

・2025年6月末時点。メンバーは予告なしに変更になる場合があります。

## 日本株オポチュニティ戦略チームの運用

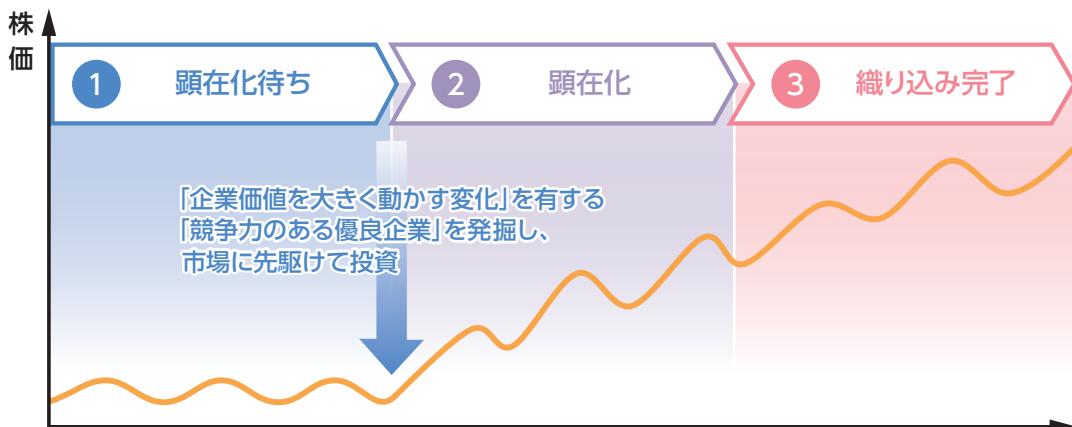


**投資アイデアの発掘**



**企業分析と投資タイミングのイメージ**

新商材・サービス、販売・ブランド・人材戦略、グローバルトレンド、ステークホルダーリレーション(従業員・顧客)、経営方針(改革・投資・還元)といった「企業価値を大きく動かす変化」を有する「競争力のある優良企業」を発掘し、市場に先駆けて投資を行うことが超過収益の獲得へつながる考えています。



株価

1 顕在化待ち

2 顕在化

3 織り込み完了

「企業価値を大きく動かす変化」を有する  
「競争力のある優良企業」を発掘し、  
市場に先駆けて投資

企業価値を大きく動かす変化

- 上記は企業分析と投資タイミングのイメージであり、全てを網羅するものではありません。
- 市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

4

# 当ファンドの銘柄選択／組入銘柄のご紹介

- ①健全なバランスシートを持つ企業、②高い業界シェアを持つ企業、③株主への積極的な姿勢を持つ企業を「競争力のある優良企業」と定義して銘柄選択の際に重視しています。これらの企業は、それぞれの特徴を強みとしながら今後の利益成長が期待できると考えます。
- また、当ファンドの銘柄選定においては、「競争力のある優良企業」の中から、割安な銘柄をさらに厳選します。
- 企業の利益成長による株価上昇に加えて、本来の実力(企業価値)と比較して過少評価されている企業が再評価されることによる株価上昇も狙いにいきます。



## 銘柄選択の着目点

### 競争力のある優良銘柄に注目

#### 企業の体力



豊富な資金を活用したM&A・海外展開・設備投資

#### 業界シェア



競争力のある商品・サービスの提供を通じた国内外でのシェアアップ

#### 株主への姿勢



経営者の先行きの業績への自信の表れ

### 割安な銘柄に注目

#### PER

(株価収益率)  
独自の業績予想

#### PBR

(株価純資産倍率)不動産含み益などを反映させた独自の純資産

#### 配当利回り

独自の配当予想

- 上記は銘柄選定の視点を示したものであり、実際にファンドで投資する銘柄の将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。
- 市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

#### 企業の体力



## ソニーグループ（業種：電気機器）



#### 銘柄概要

- 大手電子製品メーカー。ゲーム・音楽・映画・エレクトロニクス機器・半導体・金融など総合的に事業を展開。



## 運用チームの視点

- 幅広い事業展開により安定的なキャッシュ創出力を有する。
- 世界的に高いシェアを持ち、スマートフォンやデジタルカメラなど様々な機器に使用されるイメージセンサー(レンズから入った光を電気信号に変換する半導体)などへ、競争に勝ち抜くための投資を継続している。ゲームや音楽分野でも積極的なM&A(合併・買収)や投資を行う。
- 経営陣が投資家と対話をする姿勢が顕著。対話を通じて企業の課題を発見し、対応を進める経営姿勢にも共感。



### 株価の推移



(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

- 上記は当ファンドの理解を深めていただくため、2025年6月末時点の当ファンドの組入銘柄の中から、「企業の体力、業界シェア、株主への姿勢」に該当する
- 市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。
- 写真はイメージです。
- 業種は、東証33業種で分類しています。

業界シェア



## 大阪ソーダ<sup>®</sup> (業種: 化学)



### 銘柄概要

- 化学品メーカー。医薬品精製材料(シリカゲル)が主力。

### 運用チームの視点

- 糖尿病治療薬の精製用途としてのシリカゲルは世界でトップシェア。
- 糖尿病患者数は世界的に増加傾向であり、糖尿病治療薬の需要の高まりに応じて、シリカゲルの市場は着実に成長していくものとみている。
- 加えて、この糖尿病治療薬を応用した肥満治療薬の開発が急速に進んでいる。既に承認された肥満治療薬は世界的に広がりを見せ、需要に供給が追いつかない状況となっており、今後大きな市場となることに期待。



### 株価の推移



株主への姿勢



## アルマード<sup>®</sup> (業種: 化学)



### 銘柄概要

- 卵殻膜原料を配合した化粧品・サプリメントの企画・開発・販売。

### 運用チームの視点

- 同社は2022年2月、株主還元の実施や資産のスリム化・資本構成の最適化などに取り組むことにより資本効率の向上をめざすことを発表。
- 繼続的な自社株買いによる一株利益の着実な成長を業績予想などに織り込み投資を開始。経営陣とも対話し、資本効率向上へ継続的に取り組んでいく姿勢を評価。
- 今後も自社株買いなどの株主還元の強化の実施を継続することとみていることや、配当利回り等を考慮した割安さにも注目。



### 株価の推移



銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。  
・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

# 組入上位10銘柄のご紹介

(2025年6月30日現在)

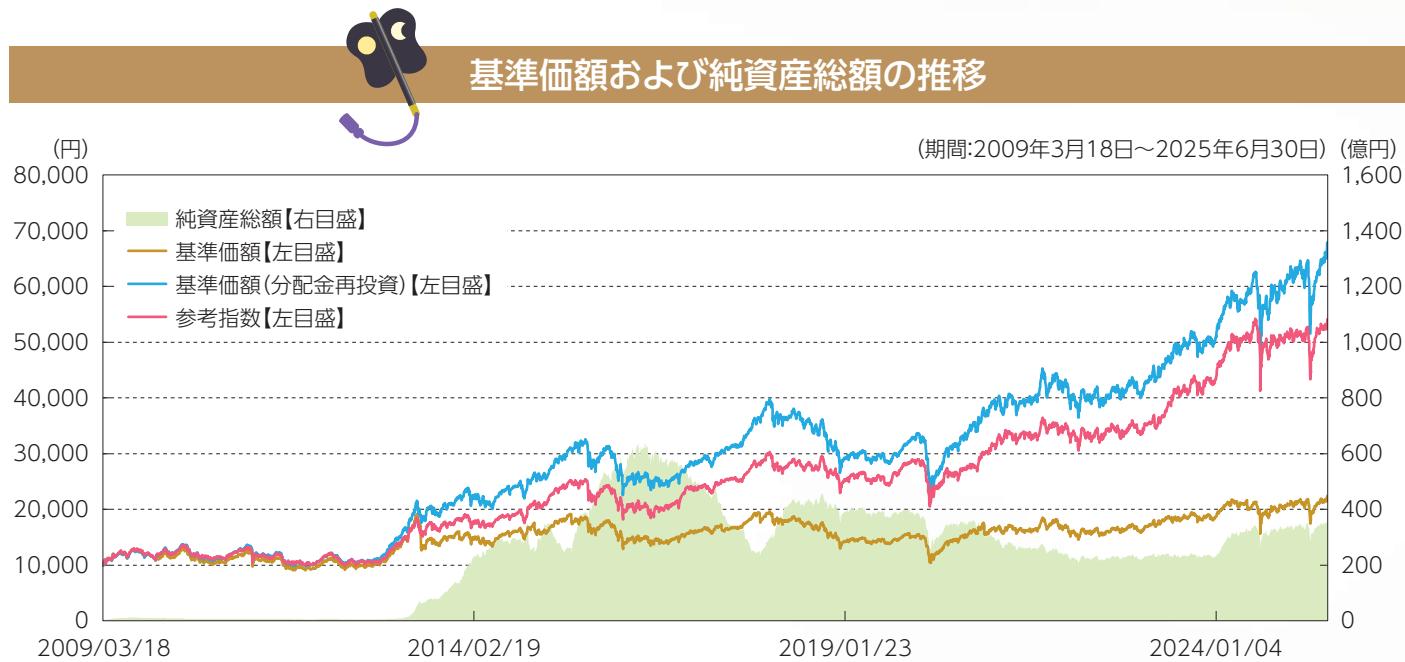
	銘柄	着目点	銘柄概要と運用者の投資視点
1	サンリオ	業界シェア	「ハローキティ」に代表されるキャラクターを用いたショップビジネス、グローバルライセンスビジネスなどを手掛ける。中期経営計画では海外におけるマーケティング・営業戦略の見直しやクリエイターなど人材への投資による成長基盤の構築などに注力しており、今後の業績拡大に期待。
2	ソニーグループ	企業の体力	ゲームや音楽、映画、エレクトロニクス機器、半導体、金融など総合的に事業を展開。「クリエイティビティとテクノロジーの力で、世界を感動で満たす」をパーソナリティとして定め、グループアーキテクチャー再編やクリエイティブの強化などに取り組む。関連する映画・音楽・ゲーム事業などの成長に期待。
3	任天堂	業界シェア	ゲーム機「Nintendo Switch」はハード、ソフトともに販売が拡大。IPの活用も積極的に行っており、映画などを通じて顧客基盤が広がっていることから、「Nintendo Switch 2」の発売に伴う業績拡大に期待。
4	大阪ソーダ	業界シェア	電解技術を基盤とした基礎化学品、機能化学品を主力としてヘルスケア、商社部門など多角的に展開。ヘルスケア関連で手掛ける医薬品の分析、精製に使用される高性能シリカゲルや受託製造する医薬品原薬・中間体の需要増加による今後の業績拡大に期待。
5	東京エレクトロン	企業の体力	半導体製造装置の大手メーカー。エッチャリング装置や成膜装置などに強み。生成AI用など最先端半導体の需要増加を背景に中長期的に半導体製造装置市場は成長が見込まれる。積極的な研究開発・設備投資を継続しており、今後の業績拡大に期待。
6	三菱UFJ フィナンシャル・ グループ	株主への姿勢	傘下に銀行、信託、証券、カード会社などを有する総合金融グループ。2024年度からの中期経営計画では、自己資本利益率(ROE)の更なる向上に加え成長戦略の進化、社会問題の解決、企業変革の加速などを基本方針として掲げる。増配や自己株式取得など株主還元の拡充にも期待。
7	ソフトバンク グループ	業界シェア	国内で移動体通信サービスを手掛けるソフトバンク事業、持株会社投資事業、マイクロプロセッサーを手掛けるアーム事業、ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業などを基軸とする企業グループ。戦略的持株会社を指向しており、情報関連で優れたテクノロジーやビジネスモデルを持つ企業への投資を通じた、企業価値の拡大に期待。
8	富士通	株主への姿勢	国内ITサービス大手企業。システムインテグレーションやコンサルティングなどを行う主力のサービスソリューション事業はDXビジネス拡大や生産性向上を背景に順調に推移。配当や自己株式取得など株主還元策にも注目。
9	明電舎	業界シェア	電力インフラ、社会システム、産業電子モビリティ、フィールドエンジニアリングの4事業を展開。世界的に電力需要が高まっていることから、国内外における電力機器関連の販売増加による業績拡大に期待。
10	日本航空	業界シェア	日本を代表するエアラインの1社。訪日外国人旅行客需要の拡大により国際線などが好調。幅広い収益基盤形成を目指し、格安航空会社(LCC)やマイル事業を成長ドライバーと位置づけており、今後の業績拡大に期待。

・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、「組入上位銘柄」を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。各社ホームページ、その他三菱UFJアセットマネジメントが信頼できると判断した情報に基づき、作成しています。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

運用実績が示す「銘柄選択のちから」。

(2025年6月30日現在)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、1万口当たりで運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
  - ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
  - ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。
  - ・参考指数は、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)です。参考指数は、当ファンドのベンチマークではありません。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。
  - ・参考指数は、設定日前営業日を10,000として指数化しています。

## 分配金実績 (1万口当たり、税引前)

2025年6月	500円
2024年12月	200円
2024年6月	1,500円
2023年12月	350円
2023年6月	1,000円
2022年12月	100円
設定来累計	18,100円

- ・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。
  - ・業種は、東証33業種で分類しています。

■ 当ファンドの運用哲学やこだわりポイントを紹介するブランドページははこちら  
([\(三菱UFJアセットマネジメントホームページ\)](#))



### 銘柄選択のちから

<https://www.am.mufg.jp/lp/strategies/250766/>

- ・ブランドページは、一定期間経過後、予告なく削除されることがあります。

#### 【本資料で使用している指標について】

■ 東証株価指数(TOPIX):東証株価指数(TOPIX)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

### ■ 米国株式:S&P500株価指数

# 投資リスク

## ■ 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

## 価格変動リスク

一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

## 信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

## 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

## ■ その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるワーリングオフ)の適用はありません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てる必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。  
投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。  
収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合には、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

## ■ リスクの管理体制

委託会社では、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行い、ファンド管理委員会およびリスク管理委員会においてそれらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を検討しています。  
また、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策を策定し流動性リスクの評価と管理プロセスの検証などを行います。  
リスク管理委員会は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

# MEMO

ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。



## お申込みメモ

購入時

### 購入単位

販売会社が定める単位  
販売会社にご確認ください。

換金時

### 換金単位

販売会社が定める単位  
販売会社にご確認ください。

申込について

### 申込締切時間

原則として、午後3時30分までに販売会社が受けたものを当日の申込分とします。

なお、販売会社によっては異なる場合があります。

その他

### 購入・換金申込受付の中止および取消し

金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。

### 信託期間

無期限(2009年3月18日設定)

### 繰上償還

受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。

### 決算日

毎年6・12月の5日(休業日の場合は翌営業日)

### 収益分配

年2回の決算時に分配を行います。

販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。

### 課税関係

課税上は、株式投資信託として取扱われます。

個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。

ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象です。販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

税法が改正された場合等には、変更となることがあります。



## ファンドの費用

### ◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時

#### 購入時手数料

購入価額に対して、上限3.3%(税抜 3%)  
販売会社が定めます。  
くわしくは、販売会社にご確認ください。

換金時

#### 信託財産留保額

ありません。

### ◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中

#### 運用管理費用(信託報酬)

日々の純資産総額に対して、年率1.1%(税抜 年率1%)をかけた額

#### その他の費用・手数料

以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。  
・監査法人に支払われるファンドの監査費用  
・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料  
・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用  
・その他信託事務の処理にかかる諸費用 等  
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※ファンドの費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

お客様専用フリーダイヤル 0120-151034

(受付時間／営業日の9:00～17:00)

●ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社(購入・換金の取扱い等)

上記の三菱UFJアセットマネジメントの照会先でご確認いただけます。

## 本資料に関してご留意いただきたい事項

●本資料は、三菱UFJアセットマネジメントが作成した販売用資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。 ●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。 ●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。 ●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。 ●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。